

一般質問

令和元年9月12日、13日
の2日間で行われました。

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

●一般質問とは…

議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のために適切な市政運営を進めているかを議員がチェック、提案などをするものです。

質問▼青年会議所創立50周年コラボ事業の「ギネス世界記録に挑戦」については、準備期間、参加募集など課題を残したとの父母からの声もある。どう受け止めるのか伺う。

答弁▼参加希望者が想定を大幅に下回り、急きょ、市内小学校に協力を呼びかけた。事前調整などが必ずしも十分でなかつた。ご指摘を踏まえ対応していくたい。



明日へつなぐバトン

質問▼150年記念事業の前半を終えて評価と課題についてどう捉えているか伺う。

答弁▼既に終了した事業については多くの方から高い評価を受けている。一方、情報発信のあり方などに改善の余地がある。

答弁▼対象となる12施設と対象者に7月以降説明し、周知に努めている。

質問▼副食費の徴収について伺う。

答弁▼低所得者は免除、これ以外の方もこれまでの保育料を超えない制度設計としている。



伊達150年記念事業について

無会派 吉野英雄



伊達市の防災対応、 視覚障がい者施策について

令和みらい
荒井秀樹

質問▼視覚障がい者の現状、

答弁▼本市単独での開催は考
えていないが有珠山周辺1市
3町で構成する「有珠山火山
防災協議会」で次期噴火への
備えにつながる事業活動を協
議していく考え方である。



伊達市役所から望む有珠山

質問▼災害に関する情報発信
についての考え方を問う。

答弁▼防災行政無線や広報車、自治会への情報提供、市ホームページ、フェイスブック、ツイッターでの情報配信、西いぶり防災情報メール、ワラジオ、マスコミへの情報提供など災害に応じて複数の手段を用いている。

特に高齢者施策について。

答弁▼視覚障がい者の65歳以上の中割合は約7割となっている。障害福祉サービス、介護保険サービスを利用しながら、自宅や施設等で生活している。各種相談は市担当窓口、相談室あり、地域包括支援センターにて対応、連携も十分に取れている。「伊達身体障がい者福祉協会」から高齢視覚障がい者の施策充実の要望があり、10月中旬に回答する予定。

質問▼平成30年度に行つた伊達市地域公共交通等実態調査事業の具体的な調査項目を問う。

答弁▼市内のバスや鉄道などの交通体系の現状分析、住民ニーズの整理、関係法令などの動向整理、有識者へのヒアリング調査を行つた。

質問▼実態調査結果を踏まえ、今後どのように活かしていくのか問う。

答弁▼この調査結果を地域公共交通のあり方を検討する際の基礎資料とする。また、第7次伊達市総合計画に掲げた持続可能な地域交通の確保と公共交通網の確立を目指し、市単独での公共交通のあり方について、2年以内に方向性を示したい。



公共交通のあり方、 児童虐待について

令和みらい
田中秀幸

質問▼市内の児童虐待の状況を問う。

答弁▼平成30年度に認定された件数は15件。

答弁▼虐待と疑われる通報があった場合、まず家庭訪問などで状況を把握し、内容に応じて警察や児童相談所等へ通報。日頃から情報共有の体制を構築することで、早期対応に努めている。また、今後も子育てに関わる相談体制の質を高めていく。



11月は児童虐待防止推進月間



有珠地区の振興について

質問▼有珠地区の防災・観光・産業について。

答弁▼

○防災については、噴火等に対応できるよう避難訓練等を行っている。

また、有珠漁港の高潮や津波対策の整備に向けて、北海道が準備を進めている。

○観光については、「有珠地区整備検討会議」から指摘があつた善光寺自然公園の有珠湾展望台やアルトリキヤンプ場などの整備等は、有珠全体で懸念されるものを、短期・長期的に検討する。

○農業では、有害鳥獣の被害について、農協や獣友会と連携して対策に努める。

漁業では、原因不明の養殖ほたての大量死が大きな問題になつている。



高潮や津波対策整備の準備に入る有珠漁港

者がいなく、研究者もいないのが問題。国と道に観測の整備をお願いしている。



食品ロス削減について ほか

質問▼食品ロス削減の取り組みや、フードバンクとしての立ち上げを考えることはできなかを問う。

答弁▼伊達消費者協会と連携し市民向けの啓発活動を行っている。国において「食品ロスの削減の推進に関する法律」が公布され基本方針について策定作業が進んでいる。

本市としても、北海道の動向を見極めながら情報収集に努め、必要な取り組みについて検討していく。

質問▼除草剤や農薬による環境汚染や一般市民への影響はないのかを問う。

答弁▼国が判断し販売等を許可していることから、使用方法を厳守すれば人体に、影響はないものと認識しております。



みんなで考えよう食品ロス

使用については国が判断すべきものである。

質問▼健康診断の際に内視鏡検査も選択の一つとして考えられないかを問う。

答弁▼胃がん検診については平成27年度に指針が改正され、内視鏡による検診が加わったところであるが、検査に時間を要し、多くの方の受診ができないため、本市としては実施していない。



地域防災について

公明党
大光力

質問▼伊達市各所にある防災無線の今後の改善について問う。

答弁▼天候や風向きなどにより音声が聞こえづらいことは認識している。市民の皆様にはテレビやワイラジオ、SNSなど複数の方法による情報収集をお願いしている。

質問▼自治会に対する災害時の緊急連絡体制について問う。

答弁▼地域住民の皆様に情報が行き届くよう、今一度、各自治会に対し、連絡網の構築について協力依頼していく。

質問▼避難所の環境改善について問う。

答弁▼災害備蓄品として段



長和町の防災行政無線

質問▼伊達市各所にある防災無線の今後の改善について問う。

答弁▼天候や風向きなどにより音声が聞こえづらいことは認識している。市民の皆様にはテレビやワイラジオ、SNSなど複数の方法による情報収集をお願いしている。

質問▼天候や風向きなどにより音声が聞こえづらいことは認識している。市民の皆様にはテレビやワイラジオ、SNSなど複数の方法による情報収集をお願いしている。

ボールベットを導入し、高齢者や障がいのある方などにも対応できるよう備蓄を進めていく。

質問▼防災士に対しての考え方とその受講料の助成について問う。

答弁▼自主防災組織などの活動において有効ではあるが、現状では公費による支援は難しいと考える。

質問▼自治会に対する災害時の緊急連絡体制について問う。

答弁▼地域住民の皆様に情報が行き届くよう、今一度、各自治会に対し、連絡網の構築について協力依頼していく。

質問▼図書館あり方検討委員会から自然環境及び他の文化施設との連携の面から現在地での増改築との答申を受け、図書館運営方針を策定し増改



老朽化した市立図書館

質問▼本年から3年間の事業計画である第1期実施計画に図書館増改築基本設計業務委託費等742万円が記載されているが未だ市民に公表されていない。

近年図書館は心豊かに暮らすための地域「ミニユーティ」の核としての場であり、きめ細かな情報発信基地としての役割が求められている。現在地での増改築を含め中心市街地への移転など多様な選択肢を市民に示し、将来を見据えた充分な議論をすべきと考える。

答弁▼図書館あり方検討委員会から自然環境及び他の文化施設との連携の面から現在地での増改築との答申を受け、図書館運営方針を策定し増改

築に向けた研究を進めている。既存施設の床面積は960m²だが増改築後の総床面積は最低でも1千200m²程度したい。財政的には合併特例債で約3億円使えるが災害対策事業等の補助も検討する。

現在地から移設の場合は約6千万の負担増となる見込み。提言を第一に考えるがいろいろなことを含め検討していく。

質問▼図書館あり方検討委員会から自然環境及び他の文化施設との連携の面から現在地での増改築との答申を受け、図書館運営方針を策定し増改



伊達市立図書館の増改築について

無会派
洞口雅章

意見書 ◎

※意見書とは…

- ①各団体から提出された意見書案は会派ごとに審査
- ②議会運営委員会で協議
- ③3分の2以上の会派の同意により本会議に提出
- ④提出された意見書案が過半数の議員の賛成により可決
- ⑤伊達市議会の機関意思として国・道の各機関へ提出
※国の機関としては⇒内閣総理大臣、衆議院議長・参議院議長、各担当大臣など

議会運営委員会を9月13日開催し、意見書の取り扱いについて審査を行った。各団体から提出された意見書は5件で、審査の結果は下記のとおり。

※各意見書の詳しい内容については伊達市HPをご覧ください。

《議会運営委員会での賛否一覧》

本会議への上程の可否	件名	提出依頼者	公明党	自民クラブ	令和みらい
○	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会（全道林活議連連絡会）	○	○	○
×	カジノを含む統合リゾート（IR）を誘致しないことを求める意見書	日本共産党伊達市委員会	×	×	×
○	水産業の体质強化を求める意見書	公明党伊達支部	○	○	○
○	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書		○	○	○
○	太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書		○	○	○

○⇒可 ×⇒否